



2025年12月9日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 列車荷物輸送サービス「はこビュン」の事業拡大を通じて LX を推進します ～日本初の荷物専用新幹線の運行を2026年3月23日に開始します～

- JR 東日本グループは、「勇翔 2034」で掲げたライフスタイル・トランسفォーメーション（LX）による「地域に活力をもたらし豊かな日本に」を実現すべく、新幹線や在来線による列車荷物輸送サービス「はこビュン」を活用して、地域の魅力発信や地域経済の活性化を推進していきます。
- 2026年3月23日より盛岡新幹線車両センター・東京新幹線車両センター間でE3系新幹線1編成の全号車を改造した荷物専用車両による運行を開始します。また、車両センター内の荷物の搬送時に<sup>\*</sup>（無人搬送車）を導入して業務効率化を図っていきます。
- これからも「はこビュン」は、産地とマーケットをつなぐ物流ネットワークの拡大により、産業振興や交流人口増加から新たなライフスタイルの創出を目指していきます。

\*AGV:Automated Guided Vehicle

### 1. 目指す姿と新たなライフスタイル



## 2. これまでの主な「はこビュン」輸送

### 輸送実績

これまで鮮魚や農産品等の地産品、精密機械部品や医療用品、引越家財など多数輸送しています



錦鯉



精密機械部品



医療用品



引越家財



### 輸血用血液製剤輸送（日本赤十字社）

速達性と高度な輸送品質を最大限に活かした仙台・新青森（八戸）間の血液輸送を実施



### 大船渡マルシェ輸送（地方創生）

林野火災で被災された大船渡市の人気商材をはこビュンで大宮駅岩手直市にお届け



### 燕三条試作品輸送（産業振興）

ものづくりで有名な燕三条エリアで製造した試作品をいち早く東京へお届け。ビジネスマッチングに寄与



### 政府備蓄米輸送（社会的課題解決）

在来線（京葉線、中央線、常磐線等）のネットワークを活用し駅社員が各駅で受け渡しを実施



### 能登復興応援輸送（流動創出）

東京統括センター社員が石川県と連携し、能登の特産品を輸送・販売し、観光情報を発信



### 荷主のお客さまからの声

- 商品の特性上、首都圏での販売が課題だったが新幹線輸送によって解決しメリットを感じている（食品販売業）
- 新幹線の高速・安定輸送で、従来の陸送よりも高品質な輸送が可能となった（医療品製造業）

### 納品先のお客さまからの声

- 地方の鮮魚が、その日のうちに都内で販売できることは、消費者に付加価値を提供でき好評（鮮魚小売店）
- 「作りたて」が売り場に並ぶことにより、地域の魅力を発信でき、お客さまとのコミュニケーションで売場が活気づいている（地産品販売店）

### 大口輸送（ネットワーク拡大）

2025年4月18日より、毎週金曜日に東北新幹線はやぶさ50号（E5系10両編成）の1号車、2号車を荷物専用車両として新青森・東京間の大口輸送を開始

#### 青森県と連携した「地域連携モーダルシフト等促進事業」

モーダルシフトや共同輸配達等を推進すること目的とした2025年度国土交通省「地域連携モーダルシフト等促進事業」に採択され、協議会を立ち上げ首都圏への新幹線輸送の実証事業を連携して実施中

・実施期間：2025年10月24日～2026年1月23日

・協議会事業者：青森県・株式会社ヤマト運輸・株式会社ジェイアール東日本物流・JR東日本



### 3. 「荷物専用新幹線」概要

2025 年 4 月から臨時列車の一部客室を使用した大口輸送サービスを開始しました。現在は、毎週金曜日に最大 200 箱程度の輸送が可能ですが、より多量の荷物を高頻度で輸送してほしいというニーズに応え、E3 系新幹線 1 編成の全号車を荷物専用車両として改造します。

車両センターの活用によりお客さまとの接触を避けることによる安全確保と、カゴ台車のまま一度に多量の荷物を輸送することが可能となります。あわせて、AGV（無人搬送車）の導入により作業効率化を実現し働き方を改革していきます。また、車内電源を活用した冷温管理機器（業務用クーラーボックス等）による冷蔵品の輸送や、今後は仙台エリアや新潟エリアの輸送を目指します。

#### (1) 輸送概要

- ・運行日：平日の定期運行（2026年3月23日（月）～）
- ・輸送区間：盛岡新幹線車両センターから東京新幹線車両センター
- ・輸送形態：荷物専用新幹線（1編成7両）

旅客輸送 1～10号車・荷物輸送 11～17号車

- ・積載量：最大 17.4 t (1,000 箱程度)

※正午前に盛岡新幹線車両センターを発車、16 時頃に東京新幹線車両センターに到着するダイヤを予定しています

※2026年2月9日（月）から受付を開始予定です

※運転日は、臨時列車運転や車両定期点検等により変更の場合があります

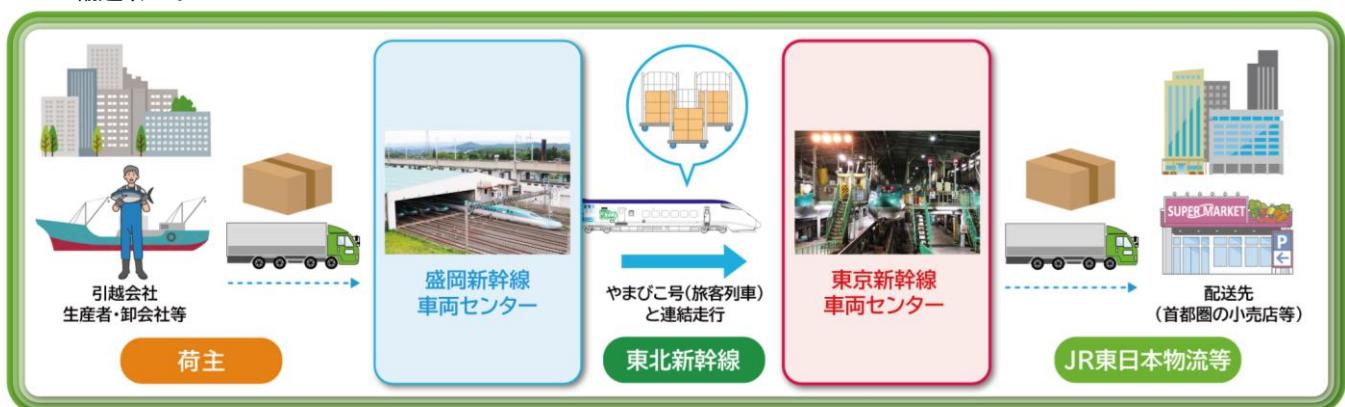
※運行時は E5 系「やまびこ」と連結します

※荷量は荷姿・サイズにより変動します



荷物専用新幹線の走行イメージ

#### 輸送イメージ

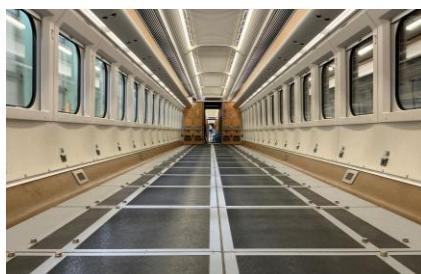


#### (2) 車両特徴

荷物搭載スペースを確保するため、客室内の座席を全て撤去しました。荷物をカゴ台車に載せたまま車内に搭載する為に、床面をフラット化した上で鉄板を敷き、滑り止め加工をしています。また、車内に設置したベルトで荷崩れを防止します。



改造前の車両内



現在、改造中の車両内  
(鉄板敷設・滑り止め加工済)



改造後の車両内のイメージ

### (3) 車両デザイン

「はこビュン」が、当社の鉄道ネットワークを活かし、地域の商品・魅力をお届けするサービスであることを全面に出した荷物専用新幹線の特別デザインです。先頭車は代表的な輸送商材を大きくデザインし、中間車の窓にエリア毎の主に輸送実績のある地産品等をデザインしています。



先頭車デザイン（一例）



中間車デザイン（一例）



中間車デザイン（一例）

### (4) AGV（無人搬送車）の導入

新幹線車両センター内の荷物の搬送に関し、AGVにより 120 サイズ（20kg 相当）の箱約 40 個分まで牽引搬送し、車両センター内のスロープや狭小ルートも含め自動搬送を実現します。

また、AGV の活用による荷扱い業務の省力化（4 トントラックの荷物の場合、3~4 往復程度で搬送）により、人手不足を考慮した働き方改革を推進します。



AGV（無人搬送車）

AGV による作業イメージ



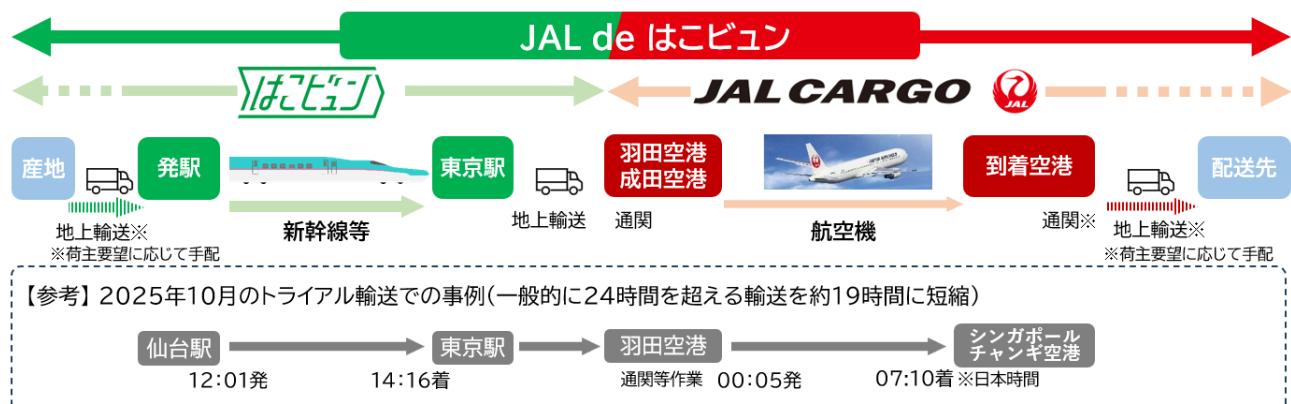
#### 4. 輸送ネットワーク・輸送サービスの拡大展開

他の事業者との連携を通じて、ネットワークやサービスを拡大し、更なる産業振興や交流人口増加を推進して地方創生、社会課題の解決を目指します。

##### (1) JAL グループと連携した新サービス「JAL de はこビュン」

地域から海外までワンストップで輸送する新しい物流サービスを、JAL グループと連携して商品化します。新幹線のスピードに加え、新幹線・航空機での輸送及び通関手続きをワンストップで行うことで各地域から目的地まで迅速に荷物をお届けすることにより、日本各地の優れた地産品の更なる海外輸出拡大による地方創生も目指しています。

- ・サービス名：JAL de はこビュン
- ・輸送開始時期：2026年1月中旬予定
- ・輸送対象エリア：シンガポール、クアラルンプール、台北、香港



##### (2) 日本郵政グループとの協業

2024年2月に当社グループと日本郵政グループとの間で「社会課題の解決に向けた連携強化」に関する協定を締結しています。その中で、持続可能な物流の実現を掲げており、両社で「物流のリ・デザイン」の実現を目指し、ファーストワンマイルやラストワンマイルの連携を含めた在来線・新幹線を活用した郵便物等の輸送を2026年度の実施に向けて検討しています。



※本プレスリリース内の画像・イラストはすべてイメージです

## 参考

### 1. 「はこビュン」事業の拡大イメージ



### 2. 上野駅「つながる産直市」での活用

2026年春、「Beyond Stations 構想」のモデル駅である上野駅において、『文化創造HUB』をコンセプトに、当社駅最大級のゼロカーボンメディアやショールーミングスペースを新たに整備し、「つながる産直市」を開催します。

五感で地域の魅力を体験できる「つながる産直市」では、列車荷物輸送サービス「はこビュン」を活用し、鉄道の「速達性」「高度な輸送品質」「広域ネットワーク」を生かして、地域でしか味わえない朝どれの新鮮な青果や海産物など、“最旬”的品々を上野駅に届けます。



上野駅での地域の豊かな食文化体験の創出を通じて、観光流動の促進、交流人口の拡大につなげ、地域経済の活性化や新たな魅力発掘の共創・循環をつくります。

(参考) プレスリリース (2025年11月11日) [https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251111\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251111_ho03.pdf)

### 3.これまでの主な取り組み経緯

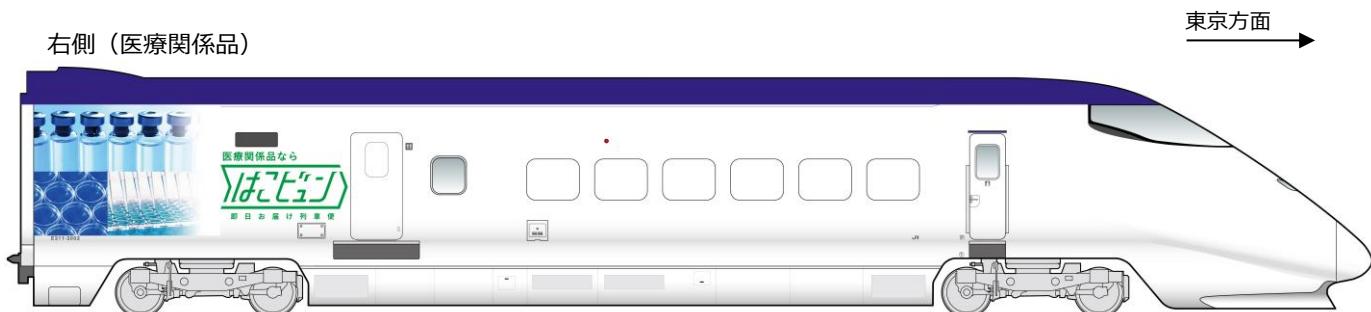
年	月	件名	概要
2017	7	新幹線による荷物輸送のサービス開始	新潟駅・山形駅・郡山駅・那須塩原駅・長野駅から野菜や果物を輸送し、東京駅で「朝どれ新幹線マルシェ」を実施
	8	初の上り定期輸送	郡山駅から東京駅の地産品ショップ「もの」向けに地域菓子の輸送を開始
	10	初の下り定期輸送	東京駅から郡山駅の NewDays 店舗向けにオリジナル菓子パンの輸送を開始
2018	11	日本郵便（JP）と連携した初の輸送	仙台駅から東京駅へいちごを輸送
	12	地方駅から東京駅への駅弁の輸送	「駅弁味の陣 2018」の受賞駅弁などを輸送
2020	2	JR西日本と連携しての初の輸送	金沢駅から東京駅へ富山県産鮮魚類を輸送
	8	JR北海道と連携しての初の輸送	新函館北斗駅から東京駅へ函館エリアの活魚を輸送
		客室を活用した輸送トライアルを実施	仙台駅から東京駅へ
	9	初の在来線特急の活用	伊豆急下田駅から東京駅へ「踊り子号」にて伊豆産の鮮魚類を輸送
	10	朝どれの鮮魚類の定期輸送を開始	仙台駅から東京駅へ
		初の在来線普通列車の活用	郡山駅から会津若松駅へ磐越西線にてオリジナル駅弁を輸送
	12	地方都市における大規模催事への輸送の実施	東京駅から盛岡駅へ「グランスタ東京」の菓子・弁当類を輸送（出前！グランスタ東京 in 盛岡）
2021	4	エキソット向けへの輸送を開始	JR北海道と連携し、新函館北斗駅から東京駅を経由し市中飲食店舗等へ、鮮魚類の定期輸送を開始
	5	エキソット向け輸送の拡大	JR西日本と連携し、金沢駅から東京駅を経由し都内の小売店舗へ鮮魚類を輸送
	7	朝どれの鮮魚類の下り定期輸送を開始	東京駅から長野駅へ
	7～8	大宮駅で荷下ろしを行う輸送トライアルを実施	上越新幹線（新潟駅から大宮駅へ）と東北新幹線（新青森駅から大宮駅へ）を活用し、約100箱を輸送
	10	「はこビュン」、「はこビュン Quick」のサービス開始	列車による荷物輸送サービスの名称を「はこビュン」に決定。従来の「新幹線レールゴー・サービス」を受け継ぎ「はこビュン Quick」のサービスを開始。東京駅↔仙台駅・新潟駅。従来から対象列車本数を拡大
2022	5	在来線特急による初のエキソット向けの輸送を開始	在来線特急による初の市中店舗向けの輸送。小田原駅から東京駅へ「湘南号」にて岩牡蠣を輸送
	10	「はこビュン Quick」のサービス拡大	金沢駅カウンターを開設
2023	3	「はこビュン Quick」のサービス拡大	盛岡駅カウンターを開設
	6	多量輸送トライアルを実施	初の新幹線車両基地の活用。盛岡新幹線車両センター青森派出所から大宮駅へ約600箱を輸送 プレスリース（2023年5月17日） <a href="https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230517_ho01.pdf">https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230517_ho01.pdf</a>
	8	車両基地間の多量輸送トライアルを実施	新潟新幹線車両センター・東京新幹線車両センター間、上り約750箱、下り約150箱の計約900箱程度の積込み プレスリース（2023年8月9日） <a href="https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230809_ho01.pdf">https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230809_ho01.pdf</a>
2024	3	トランジット輸送	トランジット輸送を活用した多量輸送を実施 プレスリース（2024年2月29日） <a href="https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240229_ho02.pdf">https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240229_ho02.pdf</a>
	3	「はこビュン Quick」のサービス拡大	長野駅カウンターを開設
	7	新幹線客室大口輸送トライアルを実施	新青森のグループ会社、統括センターと連携し、新青森駅・東京間の客室輸送事業化に向けた検証を開始 プレスリース（2024年7月8日） <a href="https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240708_ho01.pdf">https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240708_ho01.pdf</a>
2025	3	「はこビュン Quick」のサービス拡大	新青森駅カウンター、新函館北斗駅カウンターを開設
	4	新幹線大口輸送の開始	大口定期運行サービスとして、毎週金曜日、はやぶさ50号の客室を使用した輸送を新青森・東京間で開始 プレスリース（2025年3月4日） <a href="https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250304_ho02.pdf">https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250304_ho02.pdf</a>
	6～8	政府備蓄米を輸送	新幹線や在来線を活用して政府備蓄米を輸送
	10	海外トライアル輸送を実施	JAL グループと連携してシンガポールへ梨を輸送（「はこビュン」は仙台駅・東京駅間の輸送）

#### 4. 荷物専用新幹線の各車両ラッピングデザイン

先頭車には代表する輸送品目を大きくラッピングし、中間車の窓には各新幹線エリアで輸送実績のある商材を中心に、地域の代表する産品等を合計 80 種類デザインしました。

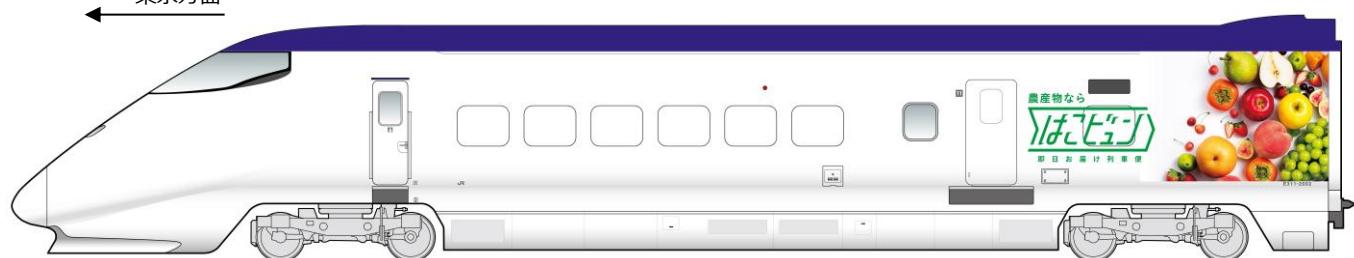
##### 11号車

右側（医療関係品）



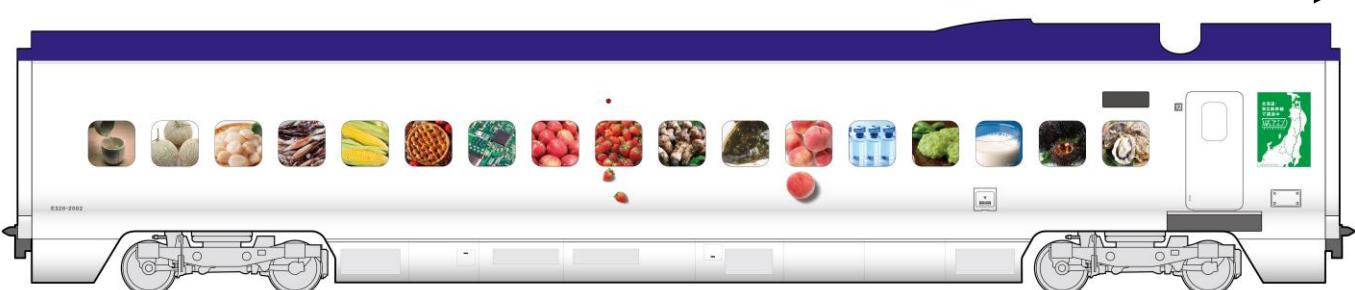
東京方面

左側（農産物）



##### 12号車 北海道・東北新幹線エリア 地産品等

東京方面



##### 13号車 秋田新幹線エリア 地産品等

東京方面



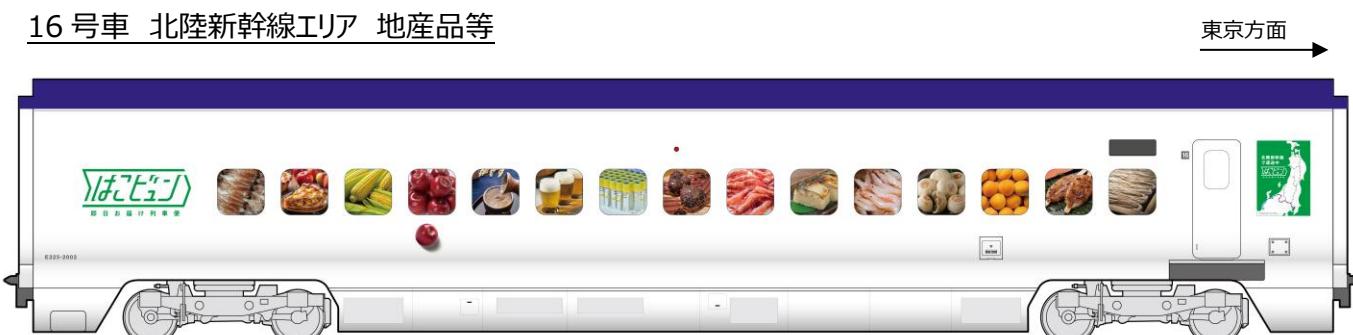
## 14号車 山形新幹線エリア 地産品等



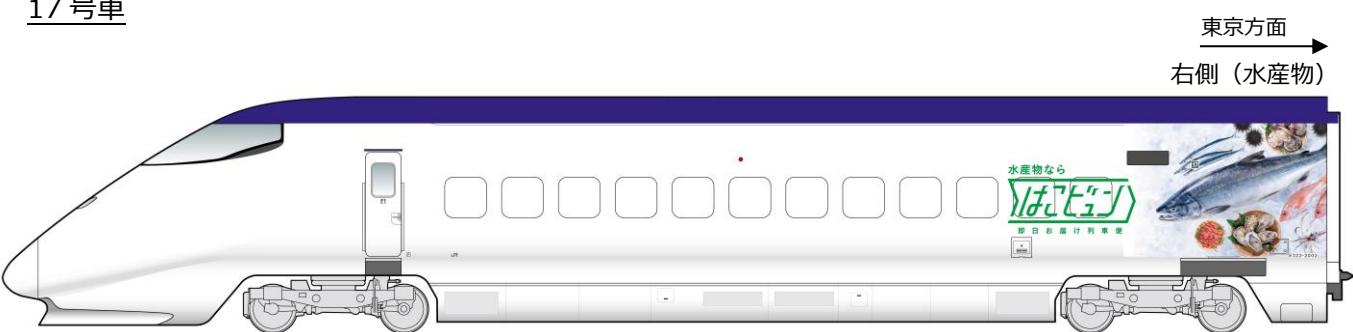
## 15号車 上越新幹線エリア 地産品等



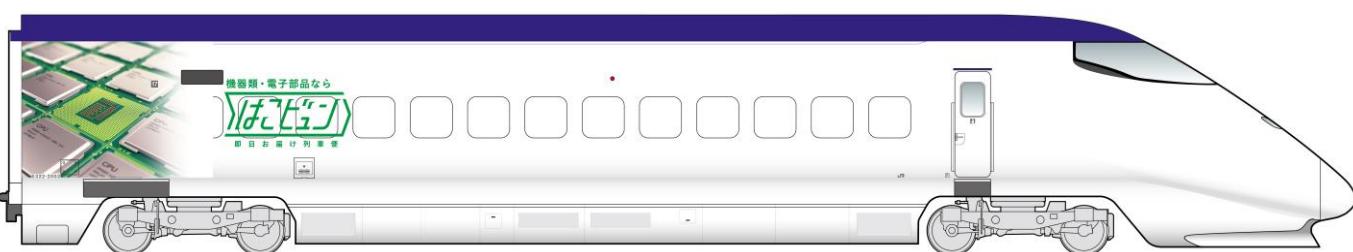
## 16号車 北陸新幹線エリア 地産品等



## 17号車



東京方面  
←  
左側（機器類・電子部品）



※12～16号車のデザインは左右対称です

## 5. 「はこビュン」の主な料金体系

- (1) 輸送対象：北海道・東北・秋田・山形・上越・北陸の各新幹線、在来線特急及び在来線
- (2) 輸送単位：1箱単位の小口から大口輸送まで
- (3) 輸送料金（基本）：

### ① 「はこビュン」 法人向け輸送（事前に契約締結が必要）

	5 箱以下	6 箱以上	一室貸(40箱程度)	大口・車両貸(※)
①新幹線	3,300 円/箱	2,200 円/箱	61,600 円/1室	104,500円~/1車両
②特急・在来線	1,650 円/箱	1,100 円/箱	—	—
①+②トランジット	4,950 円/箱	3,300 円/箱	—	—

※ご契約先は(株)ジェイアール東日本物流です ※料金は税込み表示です ※1箱は3辺合計120cm程度を想定

※ファーストマイル・ラストマイル分は含みません ※上記料金を基本とし、荷量や頻度、輸送区間などに応じて変動します

※大口・車両貸はE5系新幹線1号車を利用の場合

### ② 「はこビュン Quick」 法人・個人向け輸送（事前予約不要。直接駅カウンター持ち込み）

サイズ	1号	2号	3号	4号	5号
3辺合計	~60cm		~80cm		~100cm
重量	~3kg		~6kg		~12kg
輸送料金 新函館北斗駅↔東京駅間	1,530円		1,850円		2,850円
その他区間	1,010円		1,330円		2,190円
					4,450円

※ご契約先は(株)ジェイアール東日本物流です ※料金は税込み表示です

## 6. 社会的課題解決への貢献

直面する「物流業界の人手不足問題」や「CO<sub>2</sub>排出量削減」、「地方創生」等、社会的課題を解決していきます。

社会的課題解決への貢献効果	トラック	鉄道	
トラック運転手問題 (ドライバー拘束時間減)	43,070 時間	8,760 時間 (▲34,310 時間)	※ 盛岡→東京間の約540kmにおいて荷物専用新幹線を利用して、1年間トラック4t×4台分(16t)の荷物を、新幹線とファーストマイル・ラストマイル輸送にシフトした場合を想定し実拘束時間を試算。 ※ 盛岡市内集荷、東京都内納品の場合で、積み下ろし各0.5時間、集荷(納品)箇所・新幹線車両センター間移動1時間、都市間移動6.5時間(休憩除く)、インターバルを11時間と想定。
CO <sub>2</sub> 排出量 (環境負荷低減)	656t	63t (▲593t)	※ 盛岡→東京間の約540kmにおいて荷物専用新幹線を利用して、1年間トラック4t×4台分(16t)の荷物を、新幹線とファーストマイル・ラストマイル輸送にシフトした場合を想定し試算。CO <sub>2</sub> 排出量としては年間約593t、約229世帯分の削減が可能。

※ 営業用貨物車と鉄道貨物との比較

※ 國土交通省「自動車輸送統計年報」「運輸部門における二酸化炭素排出量」、環境省「令和4年度家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査」、野村総合研究所「持続可能な物流構築に向けた新幹線活用の可能性」より数値等引用し、当社にて試算

### <「はこビュン」について>

速達性・定時性に優れ、環境にも優しいという鉄道の強みを活かし、JR 東日本グループが展開している荷物の輸送サービスです。鉄道によって地域とモノをつなぐことで、地域の魅力発信を行い、人々の豊かなくらしづくりや社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

「はこビュン」の具体的なサービス、お申込み方法については株式会社ジェイアール東日本物流のホームページをご参照ください。

<https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/shinkansen.html>